

様式 4

<p style="text-align: center;"><b>令和 7 年度第 3 回</b></p> <p style="text-align: center;"><b>富士見市介護保険事業推進委員会 議事録</b></p>						
<b>日 時</b>	令和 8 年 3 月 2 6 日 (木)		開会	午後 1 時 3 0 分		
			閉会	午後 3 時 0 0 分		
<b>場 所</b>	市民総合体育館 3 階 多目的室 1・2					
<b>出席者</b>	委 員	日鼻委員	鳥羽委員	任委員	鈴木委員	武長委員
		○	○	○	○	欠席
		田中委員	森委員	松本委員	古内委員	市川委員
		○	○	○	○	○
		橋本委員	伊垣委員	佐々木委員		
	○	○	○			
	関係者					
	事務局	健康福祉部 鈴木部長 高齢者福祉課 島田課長、長谷部副課長、荒野副課長 秋元主査、味戸介護保険係長、阪倉主任 中村主任、早川主事 健康増進センター 山崎所長、平副所長				
<b>公開・非公開</b>	公開（傍聴者なし）					
<b>内 容</b>	《令和 7 年度第 3 回介護保険事業推進委員会》 1 開 会 2 自己紹介など (1) 委員自己紹介 (2) 高齢者福祉課職員、増進センター職員自己紹介 3 議 事 (1) 富士見市高齢者等実態調査報告書（案）について (2) 第 9 期富士見市高齢者福祉計画進捗状況について (3) 地域密着型サービス事業所の廃止について (4) 高齢者あんしん相談センターの人員配置における特例措置について (5) 老人福祉センターのあり方について (6) その他 4 閉 会					

## 議 事 内 容

### 【第3回介護保険事業推進委員会】

#### 1 開会

事務局より出席委員の数が定足数を満たしていることの確認後開会を宣言

#### 2 自己紹介など

##### (1) 委員紹介

各委員より挨拶と自己紹介

##### (2) 高齢者福祉課職員、健康増進センターの自己紹介

事務局となる高齢者福祉課職員及び健康増進センター職員の自己紹介

#### 3 議事

##### (1) 富士見市高齢者等実態調査報告書（案）について

- ・事務局より資料に沿って説明。

##### <質疑等>

- ・委員 リスク分析の結果というところで、第1から第5圏域までのチャートが出ていますが、第4圏域のところ、低栄養状態のリスクが150ぐらい振り切れているところがあるのですが、低栄養状態というのはどういう質問でこういう結果が出たのでしょうか。

- ・事務局 低栄養の状態は二つの側面から把握することになります。一つはBMIで、調査の中で身長と体重を聞いている設問がございまして、そこからBMIを算出し、18.5以下の痩せている方が該当することと、ここ数年の間に体重の減少がありましたかという設問で、減少があったということの二つを掛け合わせた結果が、低栄養のリスクという判定になっております。

- ・委員 この150というのは、かなりリスクが高いということになりますか。

- ・事務局 たまたまなのかもしれませんが、結果として高くなっております

##### (2) 第9期富士見市高齢者福祉計画進捗状況について

- ・事務局より資料に沿って説明

##### <質疑等>

- ・委員 配食サービス事業のことで、これだけ今までと違い、内容が変わっていて率直にすごいなと思えました。ありがとうございます。複数事業者を選んで、病院食のような特別食にもできる。幅が広がり、拡充されたなと思えました。聞きたいことは計画値が160で、それに対して実績値が77なのですが、元々その計画値が高いのかわからないのですが、前年度と比べて変わらないのか、何か事情があって下がってなかったのか、わかれば教えてください。

- ・事務局 配食サービスですが、元々の計画値が多少多めだったかなと担当としては考えております。というのも、現在スーパーやコンビニエンスストアでも配達をしてくれるところ、またUberEatsが始まっているところなど、多種多様な食事の確保が現在可能となっております。その中で、配食サービスは主に認知症のかたを想定しておりますが、自分で食を確保するのが難しい方などを対象と考えておりますので、どうしても人数的には減りますが、絶対に必要な食事の確保という面で事業展開は進めてまいりたいと考えております。

- ・委員 ふれあい収集事業のゴミの排出の支援のところですが、ここは数字から見ると、もう少しお受けする枠があるという認識でいいですか。

- ・事務局 環境課と共同事業なっておりまして、環境課の作業員の方が収集に行ってくださいしています。現状として火曜日、水曜日、木曜日に収集しているのですが、作業員の方からは、まだ枠はありますというふうに聞いております。

(3) 地域密着型サービス事業所の廃止について

- ・事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

- ・なし

(4) 高齢者あんしん相談センターの人員配置における特例措置について

- ・事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

- ・委員 ひだまりの庭むさしのさんで4名の状況で、その上でえぶりわんさんのご指導という形になるのでしょうか。
- ・事務局 はい。ひだまりの庭さんの主任ケアマネージャーの数に着目していただいて、えぶりわんさんは主任ケアマネージャーがゼロ、ひだまりさんには2人いるということで、二つの圏域を一つの圏域とみなした場合、約1万人の被保険者がいますから2人は必要になります。ここで2人いますという形で、今えぶりわんさんにいるケアマネージャーを、主任になるまでの間見ていただくという考え方になります。

(5) 老人福祉センターのあり方について

- ・事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

- ・委員 建て替えではなく、機能別に移転するようなお話だったと思うのですが、確かに高齢者の生活も多様化していて、老人クラブの会員数も減っているということも聞いております。その多様化に対応した形でということだとは思いますが、複合的な要素を持った、多世代交流も可能になるようなことはお考えでしょうか。
- ・事務局 新しく他の公共施設に機能移転した際には、多世代との交流ですとか、そこにはない新しい機能として提供できるような移転の仕方を検討していきたいと思っております。順番前後してしまっても申し訳ないのですが、補足説明をさせていただきます。富士見市立老人福祉センターは荒川の治水橋を渡り富士見市に来ますと、びん沼川という川が流れておりまして、そこにあります。富士見市の中心部、鶴瀬駅は富士見市役所からするとかなり離れた通いにくい場所にあるものですから、なるべく住宅街に位置したコミュニティセンターに拠点を移していただくと、利用者も増えるのではないかと期待も込めて検討をしているところでございます。長寿命化工事は築年数から困難という説明をさせていただいたのですが、一般的に長寿命化工事は、築年数が40年までに行わないと効果がなく、建て替えた方が安いという工事内容になります。コンクリートの劣化が相当年数進んだ現状では、長寿命化工事よりも立て替えた方が安いというような結論になってしまう。そういった意味で長寿命化工事は難しいという判断になっております。
- ・委員 老人会も尻すぼみになっているという話をよく聞きます。この3番目の入浴やヘルストロンというところでお風呂に入りたいけれど、富士見市は公衆浴場が閉鎖した。国保や県の高齢者の保険に入っている人は今まで補助があったというのを聞いていましたが、それが今年度からなく

なるというお話を耳にしました。そうすると 3 番目に書かれた健康の増進というところで入浴は省かれてしまうのではないか。今まで本当に入浴したかった人もできなくなったと、公衆浴場がなくなった時点でずいぶん愚痴を聞きました。これから先の転換というのは代替可能と記入されていますが、どんな将来の展望があるかお伺いしたいと思います。

- ・事務局 老人福祉センターのお風呂につきましては、お風呂というよりも銭湯というかたちで広々としていて使いやすく、入っていて気持ちがいいという意見をいただいております。我々の方でもそういった声をいただけるのはありがたいのですが、このような厳しい財政見通しの中で、ごく少数の利用者の方に対して、行政がやることであるという整理ができなかったということになります。利用されている方に、なぜ利用されているのでしょうかという問いに、広々として気持ちがいいので自宅にお風呂があるが使わせてもらっているとか、自宅の光熱費の節約のために使っているということで、それを一般の方に説明するのが我々としては難しい。そういったことで他のサービスで代替可能というふうに整理させていただきます。
- ・委員 令和 7 年 8 月下旬から市民意見聴取ということを言われていましたが、聞いているのが既に使っている団体さんや、固定ユーザーさんからの聴取だったようですが、それ以外の方からの意見聴取はこれから行う予定はあるのでしょうか。私実際にこの場所に行ったことがあるのですが、かなり固定されている方の利用とか、送迎バスが確か水曜と土曜だけというような感じで来られる方が限定されていて、既に来ている方はいいのですが、知らない方や、これから利用するかもしれない 60 歳以上の市民などの意見聴取を行う予定はあるのかお聞きしたいと思います。
- ・事務局 現在のところ資料には、市民の意見聴取と書かせていただいておりますが、実際に意見を聞いているのは、利用者の方になりまして、利用されていない方の意見を聞くということは現在予定しておりません。利用者の方も市民であるという意味合いで市民意見聴取と書かせているのですが、利用されていない方に聞いたところで、廃止してもいいという答えが当然多くなるだろうという想定になります。そうすると、利用されている方にとっては不利なアンケート結果になることが想定されますので、して利用者以外の方に意見を聞くということは、我々の方では今のところ考えておりません。ただ、今、委員がご指摘されたように、どうしたら通いやすくなるのかという意味合いで、利用されていない方に意見を聞くというのは一考の価値があるかなと感じました。どうもありがとうございます。

#### (6) 認知症初期集中支援チームの活動状況について

- ・事務局より資料に沿って説明

< 質疑等 >

- ・委員 初期集中支援チームの活動ということですが、最初は家族からの相談が多いと思いますが、プライバシーに関することなどを含め最初の接触について伺います。
- ・事務局 ご相談は、窓口へ来られた際にご家族の困っていることや認知症を患ったご本人の抱える問題、医療に繋がっているかなどヒアリングを行っています。ご本人に知られたくない状況でしたら、ご家族と面談を繰り返す中で、例えば「市役所が地域を回っている中で訪問させていただきま

した」というようなアプローチで、ご本人と接触をして面談をし、介護サービスでの困りごとがあるのかなど、そのようなところから仲介をして、チームで情報を共有しながら対応しています。

(7) その他

<質疑等>

・なし

7 閉会

副委員長より閉会の挨拶